

離設検知サービス 実証実験開始のお知らせ

ケアパートナー株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：高山尚弥）は、親会社である大東建託株式会社、紛失防止タグを活用しさまざまなサービスを展開している MAMORIO 株式会社と共同で、介護施設内から施設外へ離設※した認知症の方を即時に検知し、事故を未然に防止するサービスの実証実験を開始いたしましたのでお知らせいたします。

※介護施設や老人ホームなどで利用者が無断で施設から出て行ってしまうこと

実証実験に至る経緯

認知症を発症する方の数は今後も増加し、目的の無い歩き回りによる行方不明者の数も増加すると推測されています。徘徊から 9 時間を経過すると発見率が下がり、死亡事故等のリスクが高まります。介護施設からの離設をいち早く検知し早期発見率を上げることで離設による事故を未然に防ぐことにつながります。

ケアパートナーは、すべての方々の元気を創造し、しあわせな社会を実現することを会社の理念とし、私たちが大切にすべき価値観「たいせつにすること（VALUE）」において「安全をたいせつにする（SAFETY）」を掲げています。当社では、離設事故を防止し安心して過ごせる社会づくりに貢献するため、2024 年 8 月より離設検知の実証実験を開始いたしました。

離設検知サービスについて

介護中に認知症の方が施設外へ出た場合は、即時に介護スタッフに離設を知らせ、事故を未然に防止します。

【複雑な設定が不要、必要最低限の ICT 設備で構築可能】

介護施設内ではタグを装着した衣服や靴等を認知症の方に身に付けて貰い、施設内に複数箇所設置したタグの電波受信機との通信で離設を検知します。タグの電波受信が一定時間遮断している場合、アラートを発報し同時に指定した電話番号へ発信（複数登録可）して離設を知らせることができます。

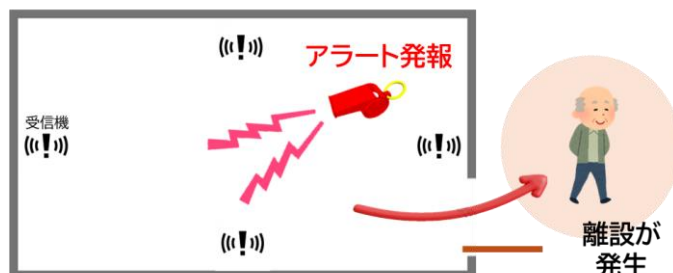
① 施設内にいる場合

いずれかの受信機が電波を検知している場合、特に何も起きない。



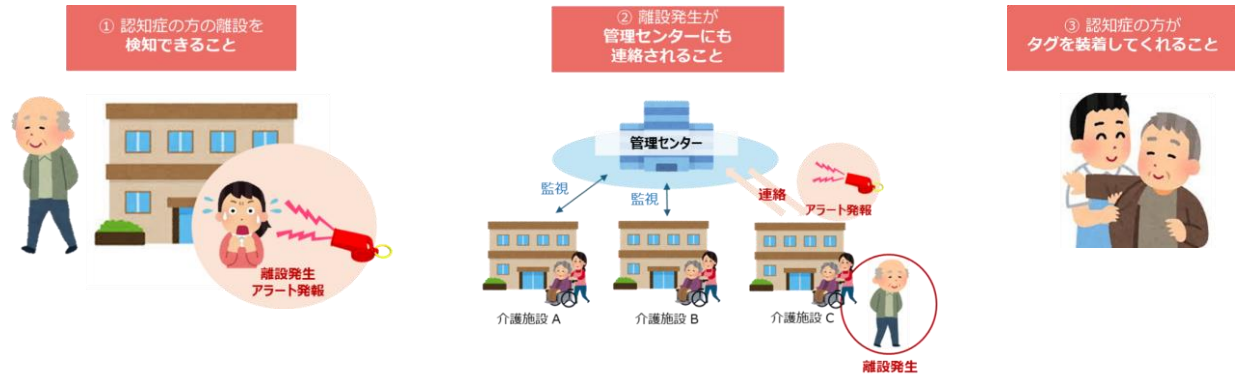
② 施設の外へ出た場合

全ての受信機で電波が検知されなくなった場合、アラート発報し、登録した番号に電話。



実証実験について

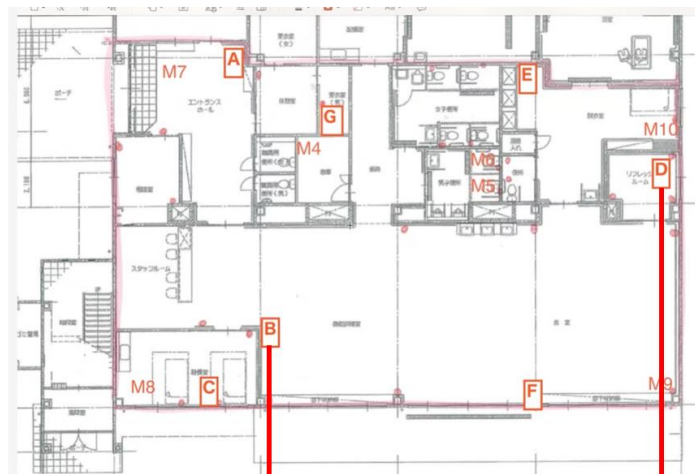
当社のデイサービス 2 拠点、グループホーム 1 拠点で下記 3 点の検証を行っています。



8 月上旬に実施したケアパートナー馬橋での検証の様子です。当日は施設の間取りを確認し、施設内の出入り口や窓等、離脱の危険がありそうな場所に受信機を設置した後、3つの検証項目の現場実証を行いました。

施設の間取りを確認し(写真①)、受信機を出入り口や窓の近く等、適切な場所に設置します。(写真②③)

写真①



写真②



写真③



タグを持った認知症の方役スタッフ（以下、離設者役）が施設外に出るとアラートが発報されます。同時に離設検知設定を登録したスマホにも連携し、離設を知らせるガイダンスが流れます。

3回の検証で、結果3回とも離設を検知し、離設者役を見つけることができました。

（離設者役のスタッフは、70歳の健康な男性の歩行スピード1.4m/秒を意識して移動しました）※厚生労働省 年齢別体力基準より

現在までの検証結果として、クリアすべき検証項目については特に大きな問題が無く、他の施設でも順調に検証が進んでいます。当社では今後も誰もが安心して過ごせる幸せな社会を実現するため、安全性向上に向けた取り組みを積極的に行ってまいります。

《MAMORIO株式会社》

代表者 : 増木 大己
所在地 : 東京都千代田区外神田3-3-5ヨシヅビル5F（本店）
設立 : 2012年7月
HP : <https://company.mamorio.jp/>

《大東建託株式会社》

代表者 : 竹内 啓
所在地 : 東京都港区港南二丁目16番1号 品川イーストワンタワー（総合受付24階）
設立 : 1974年6月20日
HP : <https://www.kentaku.co.jp/>

《ケアパートナー株式会社》

代表者 : 高山 尚弥
所在地 : 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 21F
設立 : 1999年2月1日
HP : <http://www.care-partner.com/>